

E 普及・参考事項並びに試験研究の成果

1. 令和5年普及奨励事項、普及推進事項、指導参考事項、研究参考事項並びに行政参考事項

令和4年度北海道農業試験会議(成績会議)において、当年度までに完了した試験研究成績について、普及、研究、行政に提供される事項を決定した。そのうち、現場が担当または分担した提出課題(農業資材・農業機械性能調査関係課題を除く)は次のとおりである。

(1) 普及奨励事項

ー優良品種ー

(作物開発部会)

○水稲新品種候補「空育195号」(中央農試水田農業部水田農業グループ、上川農試研究部水稲グループ、道南農試研究部作物病害虫グループ、中央農試作物開発部生物学グループ、中央農試加工利用部農産品質グループ)

○てんさい新品種候補「HT50」(北見農試研究部麦類畑作グループ、十勝農試研究部豆類畑作グループ、中央農試作物開発部作物グループ、上川農試研究部生産技術グループ、一般社団法人北海道農産協会)

○てんさい新品種候補「KWS 8K839」(北見農試研究部麦類畑作グループ、十勝農試研究部豆類畑作グループ、中央農試作物開発部作物グループ、上川農試研究部生産技術グループ、一般社団法人北海道農産協会)

(2) 普及推進事項

ー推進技術ー

(生産技術部会)

○秋まき小麦「きたほなみ」の気象変動に対応した窒素施肥管理(補遺)(農業環境部生産技術グループ、十勝農試研究部生産技術グループ、北見農試研究部生産技術グループ)

(3) 指導参考事項

(作物開発部会)

○おうとう台木「コルト」の定植法(中央農試作物開発部作物グループ)

○ペーパータオルを利用した豆類種子審査発芽率調査の有効性検証(遺伝資源部遺伝資源グループ)

(生産技術部会)

○水稲に対する混合りん酸肥料「ケイリンアルファ」の施用効果(水田農業グループ、上川農試研究部生産技術グループ)

(農業システム部会)

○水稲有機栽培における駆動式除草機の除草時間低減効果(農業システム部農業システムグループ)

○安定確収のための秋まき小麦有機栽培技術(農業環境部生産技術グループ、病虫害病害虫グループ)

○移植たまねぎにおける窒素動態と土壌診断に基づく窒素分施肥技術(農業環境部生産技術グループ、北見農試研究部生産技術グループ)

○春まき小麦に対する硝酸化成抑制剤入り化成肥料「Dd580」の施用効果(農業環境部生産技術グループ、北見農試研究部生産技術グループ)

(病虫害部会)

○令和4年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫(北海道立総合研究機構農業研究本部、北海道農政部技術普及課、北海道農業研究センター)

○薬剤耐性菌の発生に対応したリンゴ黒星病の防除対策(病虫害部予察診断グループ・病害虫グループ、道南農試研究部作物病害虫グループ)

○ジアミド系薬剤感受性低下個体群に対応したキャベツにおけるコナガの防除対策(病虫害部予察診断グループ)

(4) 研究参考事項

該当なし

(5) 行政参考事項

(農業システム部会)

○2020年農林業センサスを用いた北海道農業・農村の動向予測(農業システム部農業システムグループ、十勝農業試験場、酪農試験場)

○農村施設の訪問価値を評価できる個人トラベルコスト法の実施手順(農業システム部農業システムグループ)

2. 論文ならびに資料

(1) 研究論文、試験成績

作物開発部

○平間琢也. おうとう新品種「HC10」. 北農. 89(2), p. 28-29(2022)

○Kohei Mishina, Takako Suzuki, Youko Oono, Yoko Yamashita, Hongjing Zhua, Taiichi Ogawa, Masaru Ohta, Kohei Doman, Wenjing Xue, Daichi Takahashia, Taiga Miyazakia, Akemi Tagiria, Chihiro Somab, Harukuni Horita, Shuhei Nasuda, Romain De Oliveirai, Etienne Pauxi, Guoxiong Chena, Mohammad Pourkheirandish, Jianzhong Wu, Cheng Liua, and Takao Komatsuda. Wheat Ym2 originated from *Aegilops sharonensis* and confers resistance to soil-borne Wheat yellow mosaic virus infection to the roots. *Proceedings of the National Academy of Sciences* Vol.120 No. 11(2023)

水田農業部

○Junichi Kurihara, Touro Nagata, Hiroyuki Tomiyama. Rice yield prediction in different growth environments using unmanned aerial vehicle-based hyperspectral imaging. *Remote sensing* No. 15(2023). DOI:10.3390/rs15082004.

遺伝資源部

○丹野久, 吉村徹, 平山裕治. 日本の寒地, 日本寒地北海道の优质糯米育種. *粮油食品科技*. 30(5), p1-12 (2022)

○丹野久, 吉村徹, 平山裕治. 日本の寒地, 北海道におけるもち米良質育種. *粮油食品科技*. 30(5), p13-25 (2022)

農業システム部

○白井康裕, 松本匡祐, 山田洋文, 小野島晴子. 連産品の総合原価計算を応用した契約栽培農産物の生産費の計測—北海道における水稻種子生産を事例に—. *農業経営研究*. 60(1), p. 30-37(2022)

農業環境部

○伊勢裕太, 神田隆志, 前島勇治, 八木哲生ほか. 12 道県の水田土壌における乾田化傾向の要因. *日本土壌肥科学雑誌*. 93, p. 108-120 (2022)

○小野寺政行, 中辻敏朗, 広田知良. 冬季の土壌凍結深制御による寒地タマネギ畑の土壌理化学性改善と生産性向上効. *日本土壌肥科学雑誌*. 93, p. 121-130 (2022)

○八木哲生, 江口定夫, 朝田景. 堆肥およびスラリーを連用した飼料用トウモロコシ畑における窒素動態モデル

「改良 LEACHM」の適用. *日本土壌肥科学雑誌*. 93, p. 266-280 (2022)

○鈴木慶次郎, 坂口雅己. 堆肥施用や後作緑肥作付けが道央低地土たまねぎ畑における土壌炭素貯留量に及ぼす影響. *北農*. 89(2), p. 14-20 (2022)

○谷藤健, 池田勲. 十勝地域における平成 28 年春季強風害によるてんさいへの影響と防風林等の効果. *北農*. 89(4), p. 15-23 (2022)

病虫害部

○森万菜実, 山名利一. 北海道におけるリンゴ黒星病菌 DMI 剤耐性菌の発生. *北日本病害虫研究会報*. 73, p 76-80 (2022)

○森万菜実, 山名利一. 北海道におけるリンゴ黒星病菌 QoI 剤耐性菌の発生. *北日本病害虫研究会報*. 73, p81-84 (2022)

企画調整部

○原圭祐, 木村智之, 笛木伸彦, 石倉究. 秋まき小麦の起生期からの可変追肥体系における収量の安定化効果. *北農*. 89(3), p.176-180 (2022)

○野津あゆみ. ベンズイミダゾール耐性を示すタマネギ灰色腐敗病菌の北海道内の分布. *植物防疫*. 76(4), 21-25 (2022)

○三澤知央, 野津あゆみ. ネギ属植物に発生する *Botrytis* 属菌による病害. *植物防疫*. 76(5), 42-48 (2022)

○佐々木亮. 苗箱数削減のための高密度播種中苗によるマット苗移植栽培. *北農*. 89(4), p. 235-240 (2022)

○三澤知央. 日本産 *Rhizoctonia solani* AG-1 IA 菌株のキャベツに対する病原性. *北日本病害虫研究会報*. 73, p 23-25 (2022)

○岩館康哉, 西村穂花, 砂子田慎一郎, 藤崎恒喜, 三澤知央. *Rhizoctonia solani* AG-2-1 および AG-2-2 IV によるキャベツ苗立枯病. *北日本病害虫研究会報*. 73, p 28-31 (2022)

○三澤知央, 黒瀬大介, 佐藤豊三. 日本産ブドウ晩腐病菌 *Colletotrichum gloeosporioides* 種複合体所属菌株の分子再同定. *北日本病害虫研究会報*. 73, p 113-118 (2022)

(2) 口頭発表 (ポスター発表含む)

作物開発部

○道満剛平, 大西志全, 来嶋正朋, 堀川謙太郎, 菅原彰, 井上哲也, 山口直矢. 遺伝子型環境交互作用 (G×E) を加味した秋まき小麦育成系統の収量安定性評価. 日本

育種学会・日本作物学会北海道談話会会報 63, p22-23(2022).

○道満剛平, 丸田泰史, 山口直矢, 奥山昌隆, 白澤健太, 佐藤仁, 相馬ちひろ, 鈴木孝子. アズキ除草剤耐性評価法の確立と耐性遺伝資源の探索. 日本育種学会第143回講演会(2023.03.17-18, 静岡大学)

○山口直矢, 五十嵐秀成, 相馬ちひろ, 加賀秋人. 北海道におけるダイズ循環選抜育種法開発に向けた取り組み. 日本育種学会第142回講演会. 育種学研究 24(別2), p.41(2022.9.23)

○山口直矢, 田中啓介, 中川浩輔, 佐藤博一, 中澤洋三. インゲンマメ育種事業データを用いた収量関連形質のゲノムワイドアソシエーション解析. 日本育種学会第143回講演会. 育種学研究 25(別1), p.86(2023.3.17)

○五十嵐秀成, 小林聡, 萩原誠司, 鈴木千賀, 山口直矢. 1 遺伝子で抵抗性を発揮する *rhg1-b* を活用した北海道のダイズシストセンチュウ抵抗性育種. 日本育種学会第143回講演会. 育種学研究 25(別1), p.168(2023.3.18)

○丸田泰史, 山口直矢, 道満剛平, 相馬ちひろ, 奥山昌隆, 鈴木孝子. オルガノジェニックカルス由来のアズキ除草剤耐性個体の選抜. 日本育種学会第143回講演会. 育種学研究 25(別1), p.163(2023.3.18)

○大西巧人, 根岸英介, 山口直矢, 千田峰生. 不完全黒色ダイズ種子の単離について. 日本育種学会第143回講演会. 育種学研究 25(別1), p.195(2023.3.18)

○佐藤圭, 長澤秀高, 相馬ちひろ, 鈴木孝子. 第1染色体に座する「赤豆」由来アズキ落葉病抵抗性遺伝子. 日本育種学会第143回講演会. 育種学研究 25(別1), p.164(2023.3.18)

○堀川謙太郎, 佐藤圭, 相馬ちひろ, 内田哲嗣, 長濱恵, 長澤秀高, 堀内優貴, 鈴木孝子. アズキ「Acc1142」由来のアズキ茎疫病抵抗性に関する DNA マーカーの開発. 日本育種学会第143回講演会. 育種学研究 25(別1), p.165(2023.3.18)

○大西志全, 木内均, 飯島俊匡, 浦池隆文, 阿出川さとみ, 佐藤優美, 其田達也, 荒木和哉. サーモグラフィー搭載 UAV または放射温度計により測定した葉面温度によるコムギ収量性の系統選抜. 日本育種学会第143回講演会. 育種学研究 25(別1), p.126(2023.3.18)

○田中 義則, 佐藤 仁, 吉村 徹, 沢口 敦史. 北海道の主要農作物等の種子生産情報を可視化する Web システムの試作. 日本育種学会第143回講演会. 育種学研究 25(別1), p.89(2023.3.17)

加工利用部

○中道浩司. りんご搾汁残渣を利用したシロップ様食品素材の開発. 食品加工研究センター成果発表会(オンライン開催). (2022.4.26)

○中道浩司. 北海道産りんごによるシードル製造と搾汁残渣を活用したシロップ様食材の製造. FOOMA JAPAN 2022 アカデミックプラザ. (2022.6.10)

○竹内薫. アミロース含有率の異なる米粉をブレンドした超強力小麦粉の生地物性と製パン性の評価. 日本食品科学工学会第69回大会(オンライン開催). (2022.8.26)

○竹内薫. 粒子径および前処理方法の異なる北海道産コーングリッツを用いた食パンのテクスチャー評価. 日本調理科学会2022年度大会(兵庫県立大学). (2022.9.3)

○中道浩司. 北海道産りんごを活用したシードルの製造. 北の農畜産物活用シンポジウム. (2022.10.12)

農業システム部

○吉田裕介, 山田洋文. 北海道の水田農業が有する多面的機能の経済評価. 北海道農業経済学会第140回例会(2023)

○田中常喜, 金子剛, 大野宏, 濱村寿史, 秋山雄希, GPS ロガーを用いた粗飼料生産に係る労働生産性の要因解析, 2023年度日本草地学会札幌大会(2023)

農業環境部

○塚本康貴, 須田達也, 板垣英祐. 作土下の浅くから土壌が堅密で生育不良な醸造用ブドウに対する全層心土破碎の効果. 2022年度(第71回)農業農村工学会大会講演会(2022.8.31)

○一ノ瀬侑理, 伊勢裕太, 神田隆志, 前島勇治, 八木哲生, 他12名. 全国12道県の水田土壌における可給態窒素含有量を規定する因子. 日本土壌肥料学会2022年度東京大会. 講演要旨集第68集(2022.9.13-15.東京)

○塚本康貴, 須田達也, 板垣英祐. 醸造用ぶどうにおける土壌の生育阻害要因と物理性改良法. 第38回農業土木新技術検討報告会(2022.11.11)

○八木哲生, 前島勇治, 高田裕介. 岩見沢市の水田転換畑地域における高精度土壌図の作成に向けた検討～地形情報を用いた機械学習による精度向上の可能性～. 日本土壌肥料学会2022年度北海道支部秋季大会. 講演要旨集(2022.12.1.札幌)

○杉川陽一, 荒木英晴, 石村博之, 植草聡太, 村井翼, 松橋貴一, 千石由利子. 道央地域における秋まき小麦「きたほなみ」の安定生産に向けた窒素施肥管理. 日本土壌肥料学会2022年度北海道秋季支部大会. 講演要旨集

(2022.12.1. 札幌)

病虫害部

○下間悠士. クリに寄生するクリノツメハダニ *Oligonychus castaneae* (Ehara & Gotoh) 越冬卵の産卵場所およびふ化後寄生部位. 第31回日本ダニ学会大会 (2022.9.17~18)

○齊藤美樹. マメコバチ巢筒の再利用が可能なツツハナコナダニ防除対策の検討. 第31回日本ダニ学会大会 (2022.9.17~18)

○森万菜実, 野津あゆみ, 藤原直樹. *Rhizoctonia solani* AG-2-2 IV および2核 *Rhizoctonia* AG-A によるホソバオケラ立枯病 (新称). 日本植物病理学会北海道部会 (2022.10.13~14)

○森万菜実, 長濱恵. *Alternaria brassicicola* によるコマツナ黒斑病の発生 (新称). 日本植物病理学会北海道部会 (2022.10.13~14)

○栗原純一, 山名利一. ハイパースペクトル撮像によるリンゴ腐らん病の可視化. 日本リモートセンシング学会第73回学術講演会(2022.11.29)

○下間悠士, 丸山麻理弥. 北海道で春季に発生するコナガの飛来源推定とジアミド系薬剤抵抗性遺伝子頻度. 第76回北日本病害虫研究発表会 (2023.2.21~22)

○森万菜実. 薬剤耐性リンゴ黒星病菌の発生に対応した薬剤の効果及び散布開始適期について. 第76回北日本病害虫研究発表会 (2023.2.21~22)

○野津あゆみ, 角野晶大, 西脇由恵. ブロッコリー根こぶ病の多発要因と排水性改善による被害軽減効果. 第76回北日本病害虫研究発表会 (2023.2.21-22)

○山名利一, 本間稔規. 可搬型ハイパースペクトルカメラを用いたリンゴ腐らん病検出の取組. 令和5年度日本植物病理学会大会(2023.3.27~29)

企画調整部

○笛木伸彦. 土壌肥料のプロになりたくないのか. 日本土壌肥料学会東京大会 (2022.9.14)

○野津あゆみ. タマネギ灰色腐敗病の病原菌と防除に関する研究. 日本植物病理学会北海道部会談話会 (Web, 2022.10.13)

○富沢ゆい子, 佐々木亮. ハイパーCDU (細粒) を施用したネギの生育・収量・窒素吸収特性. 日本土壌肥料学会北海道支部会 (2022.12.1)

○野津あゆみ, 斯波肇, 谷村佳奈美, 園原輝. UV-B 照射を活用したイチゴ病害虫防除の実証 第2報. 北海道園芸研究談話会 (Web, 2022.12.4)

○野津あゆみ, 角野晶大, 西脇由恵. ブロッコリー根こぶ病の多発要因と排水性改善による被害軽減効果. 北日本病害虫研究発表会 (2023. 2.21-22)

○三澤知央, 角野晶大. 1992年に北海道で分離したゴボウ黒あざ病菌の再同定. 令和4年度日本植物病理学会北海道部会 (2021.10.15)

(3) 専門雑誌記事

作物開発部

○平間琢也. おうとう「HC10」. ニューカントリー4月号, p.16-18(2022)

○平間琢也. オウトウ新品種「HC10」. 農家の友5月号, p.44-45(2022)

○平間琢也. おうとう新品種「陽まり (HC10)」. あぐりさろん 21 Vol. 83, p.3(2022)

水田農業部

○小杉重順. 北海道における高密度播種短期育苗の適用性と早生品種「えみまる」の導入効果. 農家の友5月号, p.48-50 (2022)

○小杉重順. 北海道における高密度播種短期育苗の適用性と早生品種「えみまる」の導入効果. グリーンテクノ情報 Vol 18, No.2. p.6-10 (2022)

○小杉重順. 北海道における高密度播種短期育苗の適用性と早生品種「えみまる」の導入効果. あぐりさろん 21. p.- (2023)

○小杉重順. 北海道における高密度播種短期育苗の適用性と早生品種「えみまる」の導入効果. グリーンレポート 4月号. p.- (2023)

○小杉重順. 「北海道の施肥最適化マニュアル」 第2章 水稻編 1. 育苗における土壌診断と施肥管理. ニューカントリー2022年秋季臨時増刊号. p.6-10 (2022)

○細淵幸雄. 「北海道の施肥最適化マニュアル」 第4章 園芸編 葉茎菜類の施肥管理. ニューカントリー2022年秋季臨時増刊号. p.126、135、138 (2022)

○細淵幸雄. 「収穫後の圃場管理」 農業技術だより秋号 (13号) p.- (2022)

○細淵幸雄. 「水稻の施肥対応技術」 農家の友令和4年12月号. p.90-92 (2022)

○細淵幸雄. 「良食味米を目指した土壌管理、施肥技術」 令和5年産に向けての米づくり. p.43-79 (2023)

○山下陽子. 中食・外食向け水稻「空育195号」. ニューカントリー2023年4月号. p.12-14 (2023)

○山下陽子. 水稻新品種「空育195号」. 北農 2023年4

月号. p.35-36 (2023)

加工利用部

○中道浩司. りんご品種と酵母によるシードルの特徴と醸造目標値検討支援ツールについて. グリーンテクノ情報.18(4),p.9-13(2023)

○中道浩司. 道産素材にこだわった発酵食品開発を巡る最近の話題②北海道産リンゴを活用したシードルの製造. 農家の友4月号,p.68-71(2023)

農業システム部

○山田洋文. 水田機能の維持と所得増加に向けた経営指標の策定手順. ニューカントリー12月号. P. 56-57. (2022)

○吉田裕介. 関係機関を対象とした所得増加に向けた経営指標の策定手法. 農家の友10月号. P. 55-57. (2022)

○松本匡祐. 消費者に YES!clean 表示制度の魅力が伝わる説明文のコンセプト. ニューカントリー6月号. p. 68-69. (2022)

○原 圭祐. 秋まき小麦の起生期からの可変追肥体系における収量の安定化効果. 北農7月号. P. 13-17. (2022)

○稲野一郎. 令和4年度農産技術便り. 北海道農産協会12. P. 1-3. (2022)

農業環境部

○小野寺政行. トマトのカリ欠乏による灰色かび病の発生増加とその対策. 作物生産と土づくり. 54(3), p. 39-44 (2022)

○小野寺政行. 緑肥と堆肥、活用のススメ. アグリポート. 38, p. 11-12 (2022)

○谷藤健. <肥料高騰を乗り切るために①>土壌養分の実態と施肥設計の手順. 農家の友. 74(11), p. 72-74 (2022)

○塚本康貴. 醸造用ブドウの生育不良でお悩みの方へ～生産者ができる土壌物理性の改良法. 農家の友. 74(8), p. 46-48 (2022)

○塚本康貴. なるほど新技術 醸造用ぶどう 樹列間の硬い土を砕き圃地外へ余剰水を排出 土壌の生育阻害要因と物理性改良法. ニューカントリー. 69(8), p. 50-53 (2022)

○塚本康貴. 転換畑を復田する際の留意点. ニューカントリー. 69(11), p. 14-16 (2022)

○巽和也. 道央泥炭土水田における衛星画像を用いた排水不良地点の抽出. ニューカントリー. 69(7), p. 50-51 (2022)

○巽和也. 簡単にできる！傾斜畑の土壌流亡対策. 技術と

普及. 59(10), p. 12-13 (2022)

○杉川陽一. 「春よ恋」を倒さずに穫る. 農家の友. 74(10), p. 58-60 (2022)

○杉川陽一. 「春よ恋」を倒さずに穫る. ニューカントリー. 69(11), p. 70-71 (2022)

○杉川陽一. 受光効率を高め「きたほなみ」を安定生産. ニューカントリー. 70(4), p. 18-20 (2023)

○杉川陽一. 「春よ恋」を倒さずに穫る. アグリポート. 40, p. 21-22 (2022)

病虫害部

○小澤 徹. 2022年に特に注意を要する病虫害. ニューカントリー. 4月号, p. 20-22 (2022)

○小澤 徹. 湛水処理によるなまぐさ黒穂病菌の密度低減効果. 農家の友. 6月号, p. 48-50 (2022)

○小松勉. 2023作物展望 病虫害. ニューカントリー. 1月号, p. 60-62 (2023)

○小澤 徹. 令和4年度に北海道で新たに発生を認めた病虫害. 農家の友. 3月号, p. 4-7 (2023)

○岩館康哉, 西村穂花, 森万菜実, 三澤知央. 岩手県の畑ワサビに発生した *Rhizoctonia solani* による苗立枯れ症状と同種による既知病害との異同. 植物防疫 76巻10号, p.2-5(2022)

○西脇由恵. 有機栽培ワイン用ブドウを病虫害から守る. 農耕と園芸. 夏号, p. 18-21 (2022)

○西脇由恵. 畑の健康診断でブロッコリーを根こぶ病から守ろう. ホクレン営農情報誌アグリポート. 8/9月号, p. 17-18 (2022)

○西脇由恵. 有機農業での病虫害管理. ニューカントリー. 8月号, p. 74-75 (2022)

○西脇由恵. 畑の健康診断でブロッコリーを根こぶ病から守る. 農家の友. 9月号, p. 42-44 (2022)

企画調整部

○佐々木亮. 多様な水稻栽培に対応した施肥管理. ニューカントリー増刊号, p.50-52(2022)

○三澤知央, 野津あゆみ. ネギ属植物に発生する *Botrytis* 属菌による病害. 植物防疫. 76, p.272-278 (2022)

(4) 著編書資料

農業システム部

○稲野一郎. 令和5年産に向けての米づくり. VII良質・良食味米生産のための収穫・乾燥・調製と稲わら収集. 北海

道農産協会, 2023. P. 147-164.

農業環境部

○谷藤健. 土壌・施肥管理の考え方. 第1章基礎編. “北海道の施肥最適化マニュアル”. 北海道協同組合通信社編. 同発行, 2022. p. 10-16.

○杉川陽一. 小麦の施肥管理 春まき小麦. 第3章畑作編. “北海道の施肥最適化マニュアル”. 北海道協同組合通信社編. 同発行, 2022. p. 76-79.

○塚本康貴. 豆類の施肥管理. 第3章園芸編. “北海道の施肥最適化マニュアル”. 北海道協同組合通信社編. 同発行, 2022. p. 89-92.

○八木哲生. 飼料用トウモロコシの施肥管理. 第3章畑作編. “北海道の施肥最適化マニュアル”. 北海道協同組合通信社編. 同発行, 2022. p. 95-98.

○小野寺政行. 園芸の施肥管理の考え方. 第4章園芸編. “北海道の施肥最適化マニュアル”. 北海道協同組合通信社編. 同発行, 2022. p. 100-106.

○小野寺政行. 野菜育苗床土・野菜畑土壌の診断基準. 第4章園芸編. “北海道の施肥最適化マニュアル”. 北海道協同組合通信社編. 同発行, 2022. p. 112-114.

○小谷野茂和. 葉茎菜類の施肥管理 たまねぎ. 第4章園芸編. “北海道の施肥最適化マニュアル”. 北海道協同組合通信社編. 同発行, 2022. p. 123-126.

○杉川陽一. 良質小麦生産のための施肥および土壌管理. “北海道の小麦づくり”. 北海道農産協会編. 同発行, 2023. p. 53-84.

企画調整部

○富沢ゆい子. メロンの着果期の栄養診断で肥料のムダをなくせます～無加温半促成作型メロンの窒素栄養診断法. 農家の友8月号. p.44-45(2022)

○富沢ゆい子. メロン 葉柄硝酸濃度が高ければ着果ぞろい後の窒素分施は不要 無加温半促成作型品種の窒素栄養診断. ニューカントリー5月号. p.76-77(2022)

○富沢ゆい子. ニューカントリー2022年秋季増刊号「北海道の施肥最適化マニュアル」. (株北海道協同組合通信社. p.148-156(2022)

○富沢ゆい子. ニューカントリー2022年秋季増刊号「北海道の施肥最適化マニュアル」. (株北海道協同組合通信社. p.162-165(2022)

○笛木伸彦. ニューカントリー2022年秋季増刊号「北海道の施肥最適化マニュアル」. (株北海道協同組合通信社. p.17-20(2022)

○笛木伸彦. ニューカントリー2022年秋季増刊号「北海

道の施肥最適化マニュアル」. (株北海道協同組合通信社. p.80-85(2022)

○富沢ゆい子. 無加温半促成作型メロン 窒素栄養診断. 農業共済新聞. (2022.5.4)

(5) 新聞等記事

作物開発部

○平間琢也. オウトウ新品種「HC10」の特徴. 農業共済新聞 (2022.7.6)

水田農業部

○小杉重順. 北海道における高密度播種短期育苗の適用性と早生品種「えみまる」の導入効果. 農業共済新聞. (2023)

農業システム部

○金子 剛. 飼養頭数規模拡大が牛乳生産費に及ぼす影響とTMRセンター加入によるコスト低減効果. 農業共済新聞. (2022. 12. 8)

○山田洋文. 水田機能の維持と所得増加に向けた経営指標の策定手順. 農業共済新聞. (2022. 11. 9)

○松本匡祐. 消費者に YES!clean 表示制度の魅力が伝わる宣伝文の作り方. 農業共済新聞. (2022. 12. 1)

農業環境部

○杉川陽一. 春まき小麦「春よ恋」 倒伏させずに増収・高タンパク. 農業共済新聞. (2022. 4. 27)

○塚本康貴. ワインブドウ 土壌改良で生育向上. 農業共済新聞. (2022. 7. 27)

○巽和也. 衛星画像を用いた排水不良水田の抽出. 農業共済新聞. (2022. 8. 10)

病虫害部

○西脇由恵. 畑の健康診断でブロッコリーを根こぶ病から守る. 農業共済新聞. (2022.5.8)

○小澤徹. コムギなまぐさ黒穂病菌を減らすには. 農業共済新聞. (2023.1.31)

○小澤徹. 令和5年度特に注意を要する病虫害. 農業共済新聞. (2023.3.15)